

自己評価及び外部評価結果 R2-1

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「今日も一日楽しく有意義に過ごす」の理念は、職員の目につく玄関に掲げ、職場に来たら気持ちを切り替え、利用者様やスタッフ同士でも笑顔と挨拶を心がけ、気持ちよく働けるようにしています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年度は新型コロナウイルスの感染防止のため、地域の方との交流は控えめました。町内会で行っている段ボールの廃品回収には、引き続き協力しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため地域の方との交流がなく、認知症の方の理解や支援方法をお伝えすることはできませんでした。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度新型コロナウイルス感染防止のため、紙面にて、ホームでのサービスの様子、入居状況、事故報告などを行っています。報告書についてご意見、ご感想を包括支援センター、町内会長から頂いています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議報告書や身体拘束等廃止委員会の報告書など提出し、ホームでの取り組みを伝えていきます。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束等廃止委員会を行い、今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、アンケート方式で研修を行い、身体拘束について考える機会を作っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止委員会で虐待に関するホーム内研修を行っています。職員間で意見を共有し虐待が行われないよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前、成年後見制度を活用している利用者様がいらっしゃる、ケアマネジャーの説明を聞きカンファレンスを行ないましたが、現在は学ぶ機会がありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結時には、ホーム長が利用者様とご家族に十分な説明を行い疑問にも丁寧に答え、不安のないよう努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	新型コロナウイルスの関係で、玄関先や電話等で利用者様の様子を伝え、意見や要望等を伺いカンファレンスを行い反映しています。利用者様からは、会話や表情の中から思いを受け止め反映できるよう努めています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見要望を聞き反映するよう努めています。また、日々の申し送りや連絡ノートを活用し、意見を交わしやすい仕組みを作っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の事情を把握し、働きやすい時間の勤務を可能にしています。資格手当・昇給やボーナスの支給が有り、有給の取得にも努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得には勤務調整を行い、費用面でも援助があります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	新型コロナウイルスの関係で、同業者との交流は行っていません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の面談で、御本人・御家族より生活暦、現在の生活の様子を聞き取りしています。入居前に在宅時のCMから資料をもらい、スタッフに伝え、生活状況等の確認をし、その人らしく生活できるよう支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、御家族と面談の時間をもち、不安な事、求めている事、困っている事をお聞きし、その言葉を真摯に受け止め、御家族との信頼関係を築いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、看護師、ケアマネが対応し、ホームの中でどんな支援が必要なのかを考え、ケアプランを作成し、職員全体で共有し、支援しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物を干したり、置んだり、調理の手伝いなど本人のできる事や、したい事を職員と一緒に会話を楽しみながら行い、良い関係を築いています。又、ご本人の持っている能力を伸ばすよう、あるいは長く維持できるよう努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用料の支払いは出来るだけお持ち頂き、その際に利用者様の様子を伝えています。月初めには、ホームでの様子や行事等の写真、担当職員からは自筆のお手紙を送付し、御本人の様子を詳しくお知らせしています。ケアプラン更新の際はご家族の御意見を伺い参考にしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様や馴染みの人との関係は継続したいのですが、新型コロナウイルスの関係で、面会等は必要最小限にさせていただいています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り調理や片付け等のお手伝いを一緒にして頂いています。ドライブ等の外出を通じて、自然に関わりができるよう努めています。レクリエーションを通して楽しみを共有できるよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、入院や転所された方の様子を家族様に電話で伺うなどし、相談や支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御本人がどのような生活を望んでいるのかを一緒に考え、意思表示の困難な方は、御家族からの情報・生活歴・性格など踏まえて利用者様主体で生活できるよう支援に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートにて生活歴や生活環境についての把握をしています。又、御家族や利用者様の会話からも情報を得て生活に反映できるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様一人ひとりに声掛けをし、表情やバイタル測定で体調管理を行っています。一日の様子を生活記録に記入し、変化があればスタッフ間で情報を共有しています。また、利用者皆様のできること、好きなこと、苦手なことを把握し支援に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員は常日頃よりご本人の気持ちに寄り添うよう努め、毎月会議でモニタリングを行っています。ニーズ課題を話し合い、その人らしく生活できるよう介護計画を作成しています。又、御家族に意見要望を伺い介護計画に反映しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気付いた事、変化は生活記録や気づきシートを使い職員間で情報の共有・実践を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナウイルス対策のため、通院は往診や、ご家族にお願いしています。本人希望の買い物や美容室などもホーム内でできるよう対応し、外出を控えています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウイルス対策のため、地域交流は控えました。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医、又は御本人御家族の希望したかかりつけ医に診て頂いています。常に御家族と連携を取りながら、適切な医療が受けられるよう支援しています。体調不良時にはかかりつけ医に相談し、受診が必要時には、職員・ナース同行で受診するようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の日常の体調様子を看護師に伝え、指示や助言を受けながら介護しています。夜間帯の緊急の場合も電話連絡し指示を受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は職員が交代でお見舞いに行き、少しでも安心して頂けるよう心がけています。また、病院の看護師等からは、入院時・退院時・退院後の生活についての情報を収集しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族の希望と、利用者様にとって最良の方向について話し合いを持ち、看取りケアを含めて安心して終末期を迎えられるよう支援しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフ会議の中で事故発生時の対応や対策を話し合っています。毎年、消防署の方によるAED・心臓マッサージの講習会を行っていましたが、今年度は消防署より、新型コロナウイルスが落ち着くまでやめてくださいとのことで実施していません。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は、ホーム内のみで、夜間設定で1回実施しました。2階の車椅子の方の救助はタオルケットを使用して行いました。土砂災害時の訓練は行っていませんが、避難場所の確認を行いマニュアルも作成しています。新型コロナウイルスが落ち着くまでホーム外の方の参加を控えています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーを傷つけないように配慮し、異性の介助が嫌だと話される利用者様には同性で行い、誇りやプライバシーを損ねないように声掛けを行なっています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の思いや希望を尊重し何をしたいのか伺い支援しています。自己決定できる場面作りをしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の体調やペースに合わせて、レクリエーションや外出等、その時々意向を伺い支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の整容は、できる限り自分で髪をとかしたり、洗顔しています。化粧水やクリームを付けたり、お化粧をしている方もいらっしゃいます。		

自己評価	外部評価	項目	外部評価		
			自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様と一緒に献立を考え、できる限り希望に沿いながら楽しんで頂くよう支援しています。また、「食べたい」などの希望をかなえるため、コロナ禍で外食は難しいので、出前を取ったり、キッチンカーを利用し喜んで頂いています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事の摂取量を常に記録し、その方に合わせた食事を提供しています。毎月体重測定をしバランスも考えています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの支援をしています。入れ歯使用の方は、就寝時洗浄剤を使用し常に口腔内の清潔に配慮しています。自力で行えない方にはスタッフがケアの介助をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、その方に合ったトイレ誘導やパッド交換をしています。できるだけトイレで排泄できるよう支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日テレビ体操で身体を動かし、手作りのヨーグルトや起床後に水分を摂ることで腸の働きを促しています。食事にはもち麦を取り入れてスムーズな排便へ繋げています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の体調や気分に合わせて気持ち良く入浴できるよう支援しています。同性を希望する方には同性介助で行い、入浴の拒否が強い方には日を改め、無理強いせず入浴していただいています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間は決めず、個々のペースに合わせて休んで頂いています。日中は運動やレクリエーションを行い生活リズムを整え、できるだけ夜間ゆっくり休めるよう支援しています。季節に合わせて寝具や室温、衣類を考慮し支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬ファイルを作り用法、用量を把握しています。毎日、服薬確認表で氏名、日付け、朝昼夜、就薬を確認し飲み終えるまで見守りしています。症状については日頃から観察し、看護師に伝えています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理、盛り付け、食器拭き、掃除、洗濯物たたみなど利用者様に合わせたお手伝いをして頂き満足感が持てるよう支援しています。誕生日には、好きなものをお聞きし、食事の献立に取り入れお祝いをしています。歌や音楽体操・パズル・かるた・脳トレ等のレクやアクティビティ、ホーム周辺の散歩やドライブをし、気分転換の支援をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今年新型コロナウイルスの流行があり、ホーム周辺の散歩やドライブを主に行いました。入居者様の好みに合わせて外食にいたり、ご家族と外食をしていくなど外出の支援を積極的に行っていましたが、今年控え、ホーム内で季節に合わせた出前を取るなど工夫しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	新型コロナウイルスの流行があり、買い物や外食等の支援はできませんでした。職員が入居者様の希望を伺い購入するなど気持ちに添って支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	入居者様が電話をしたい時には、いつでも使用していただいています。年末にはご家族への年賀状を作成するなど、いつでもやり取りできるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様が不快に思わないよう、食器洗いの音等、気を付けています。リビングの温度は毎日、午前・午後確認し過ごししやすい室内環境に配慮しています。フロアには行事や日常写真、季節感のある飾り付けをし、入居者様の気持ちが落ち着き居心地の良い空間作りをしています。コロナウイルス対策のため、フロアは定期的に換気を行い、手摺り等も、除菌剤を使用して拭き取りをしています。食卓テーブルは食事前後には必ず除菌しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアでは好きな場所に座って頂き、テレビや音楽をかけ、気の合う方とお喋りを楽しんで頂いています。仲の良い関係を職員は把握しており、話しやすい席などの配慮をしています。また、癒し効果のあるアロマオイルを使用し、和やかに過ごしていただけるよう配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際には、自宅で使用していた家具等を持って来られ、生活に合わせてテレビを置いたり、写真や思い出の品を自由に飾るなど、ご本人が居心地良く過ごせるよう工夫しています。各居室は殺菌効果のあるアロマオイルを使い居心地の良さと、インフルエンザ、コロナウイルス対策をしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーになっており、玄関、廊下、トイレ、浴室には手摺りが設置されています。トイレや居室は、分かりやすいように表示し、日付も廊下やフロアにカレンダーを飾り表示しています。		